

## 国道113号「赤湯バイパス (L=7.2km)」 開通後の効果について (速報)

平成21年3月27日に全線開通した「国道113号赤湯バイパス (延長=7.2km)」の開通後の効果について、下記のとおりお知らせします。

### ■市街地の大型車交通が6～7割減少しました

- みやうち宮内交差点で大型車交通が、6割減の約1,500台/日減少しました。
- くぬぎづか櫛塚交差点で大型車交通が、7割減の約500台/日減少しました。

### ■置賜総合病院への救急搬送時間が8分短縮されました

- 開通前の高畠町から置賜総合病院への救急搬送時間29分
- 開通後の高畠町から置賜総合病院への救急搬送時間21分

※詳細は別添資料をご覧ください。

<記者発表会：山形県政記者クラブ、米沢記者倶楽部>

国土交通省 東北地方整備局 山形河川国道事務所

TEL 023-688-8421

担当：副 所 長 たかはし高橋 としひこ敏彦 (内線205)

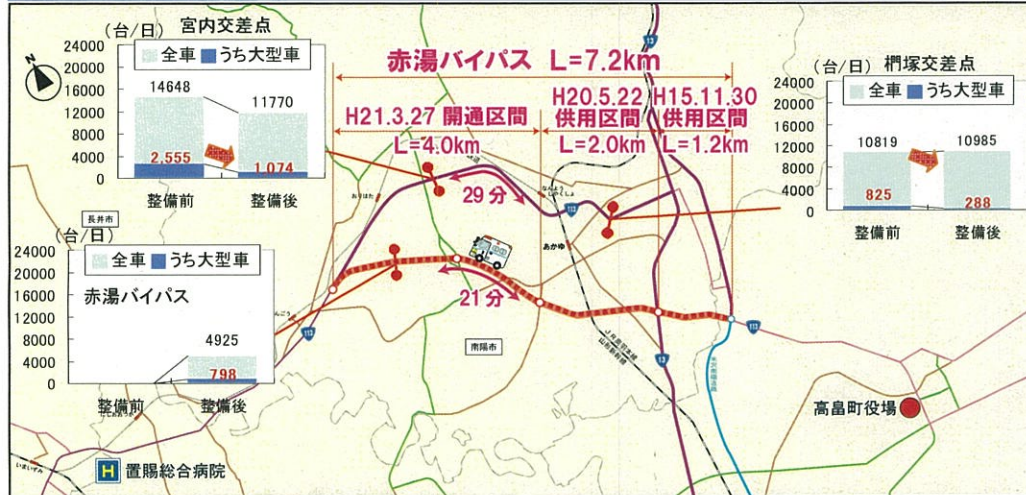
調査第二課長 むとう武藤 とおる徹 (内線451)

一般国道113号

# 赤湯バイパスが開通して

(平成21年3月27日開通)

- ①市街地の大型車交通が**6～7割減少**
- ②置賜総合病院への救急搬送時間が**8分短縮**



- 赤湯バイパス開通後、市街地を通過する大型車交通が**6～7割減少**しました。(全車では横ばい～2割減少)
- また、赤湯バイパス開通により、置賜総合病院への救急搬送時間が**8分短縮**されました。



## 《利用者の声》

搬送時間が短縮され、出勤の場所により出入り口を選択できることから赤湯バイパスを優先的に利用しています。  
(高島町消防本部)

路面の振動がなく、特に脳血管障害を疑われる救急患者の搬送に大変役立っています。  
(南陽市消防本部)

赤湯の街中を通らずに会社に行くことができるようになりました。お客様もとても喜んでいますが、時間短縮により業務効率が上がりました。  
(南陽市在住 男性)

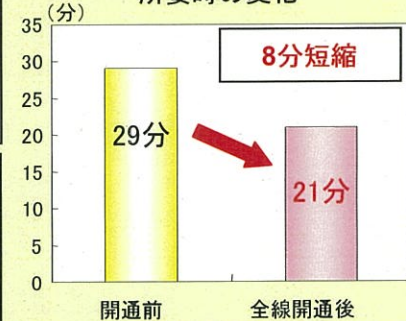
## 市街地の大型車交通の変化

宮内交差点  
 整備前: 2,555台/日  
**6割減少**  
 整備後: 1,074台/日

桐塚交差点  
 整備前: 825台/日  
**7割減少**  
 整備後: 288台/日

資料: 山形河川国道調べ  
 整備前: H19.11 (桐塚はH20.5)、整備後: H21.4

## 高島町から置賜総合病院への所要時の変化



資料: 平成11年道路交通センサス  
 注) 赤湯BPIはH21.4実測値

## 赤湯バイパスの事業概要

事業期間: 平成7年度～平成20年度  
 総事業費: 約270億円  
 延長: L=7.2km  
 幅員: 12.0m (自動車専用道路)